

# 森林公園の平成30年度管理状況

様式3

施設所管課	観光戦略推進部観光企画課
施設管理者	森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループ 代表者 一般社団法人森林公園地域振興会 代表理事 坂本 守
指定期間	平成30年4月1日～平成35年3月31日
中期経営目標 (H30～H34)	①利用者数を5年間で4%増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

## 1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

### (1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<p>施設の使用受付、案内等の接客向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「経営理念、行動指針」を策定し職員の意識向上をさせているほか、接客研修を職員全員に実施</li> <li>・「行動指針」の「より清潔に、より快適に」を目標に、トイレやバーベキュー施設、炊事棟などの衛生管理を徹底した。</li> <li>・障害ある方等に対し「公共サービス窓口における配慮マニュアル」により、相手の立場に立って対応するよう努めた。</li> </ul> <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートを実施（196件）</li> <li>・HP等の意見、問合せを受付しニーズ等を把握</li> <li>・苦情対応マニュアルを策定し対応している</li> </ul> <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授乳室、幼児用便座の設置</li> <li>・職員共通のポロシャツを着用することで、来園者に対して声かけしやすい雰囲気を作った</li> </ul> <p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験教室等のイベントの開催（41回、参加人数1016人）</li> <li>・平成25年3月、森林セラピー基地に認定（※県内初、平成24年1月申請）</li> </ul> <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元特産の「マコモ」をテーマとしたイベントや「森の青空アート」（出店数164、来園者約6,000人）などのイベント等を連携・協同開催</li> <li>・津幡町森林セラピー推進協議会と連携しPR活動を実施。</li> <li>・森林セラピープログラムで延べ516名が参加</li> <li>・森林セラピスト、ガイドの講習会の開催（のべ79名が参加）</li> <li>・地元ボランティア団体と連携し展示ギャラリーに展示（9回、観覧者39,349人）</li> <li>・新しい企画「いきいきチャレンジ50」を実施。（登録者にスタンプカードを渡し、来園した際に日付印を窓口で押して、来園回数に応じて、粗品・缶バッチ・回数認定書などを提供する。登録者数150人、のべ来園者数12,056人）</li> </ul>

② 広報活動	施設の情報提供、広報、広告 ・学校の遠足等の企画時期に合わせ森林公園の資料を配付 (1113校 富山、福井県へも発送) ・新聞社、テレビ、タウン誌、季刊誌等への情報提供 ・イベント案内掲示を公民館など地元市町施設や町内ショッピングセンター等に依頼 ・プレミアムパスポート事業に参加 (フィールドアスレチック) ・Facebook、インスタグラムの継続
--------	---

(2) 平成31年度における取組内容の見直し等

実施内容
森林公園活性化津幡町連携協議会のイベントの更新 「まこもやり投げ大会 → 森の落ち葉のお絵かきコンテスト (仮称)」 BBQの予約にネットシステム導入

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H25~28 年度平均 (基準値)	H29年度	H30年度	前年度比	基準値比	H34年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	179,767人	182,358人	172,595人	94.6%	96.0%	187,000人
(2) 貸館稼働率 (%)	98.4%	98.4%	98.4%	.0ポイント	.0ポイント	
(3) 利用者アンケート における満足度						
利用者サービス (%)	93.7%	97.8%	95.3%	-.03ポイント	.02ポイント	
施設の維持管理 (%)	94.9%	89.9%	89.0%	-.01ポイント	-.06ポイント	

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	4月5月GWや秋の天候不順により、利用者が大幅に減少していた。冬場は雪が少なく利用者も多かったが、最終的には大幅に減少した。	4月5月GWや秋の天候不順により、利用者が大幅に減少していた。冬場は雪が少なく利用者も多かったが、最終的には大幅に減少した。
貸館稼働率	増減なし	増減なし

<利用者アンケート結果（平成31年度実施 有効回答数196件）>

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	61.1%	34.2%	3.1%	1.6%
施設の維持管理(%)	48.7%	40.3%	7.3%	3.7%

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	大型施設、トイレ、広場は常時実施 道路（遊歩道） 路面清掃を3・4・11月に実施
(2) 設備保守点検	各広場林道管理（各専門業者へ委託） 保守点検（各専門業者へ委託）
(3) 植栽維持管理	草刈り 6～9月の間実施
(4) 警備	警備（夜間警備を専門業者へ委託）
(5) 小規模修繕	林道関連補修 7件 水道設備 2件 備品設置 6件 アスレチック 5件 建物等修繕 5件 構造物補修 9件 その他 19件 計 53件

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・「災害時における森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループ対応マニュアル」を策定し、職員へ周知 ・安全衛生委員会の開催、労災防止研修会の開催
(2) 個人情報の管理状況	・「森林公園管理受託業務共同企業体個人情報保護規程」に基づき管理

## 5 収支状況

### (1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
インフォメーションセンター学習ホール	185	0	
運動広場	19	0	
トンカチ館	(閉鎖中)	0	
合計	204	0	

### (2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
インフォメーションセンター学習ホール	158	390	143件：条例に基づき
ボート乗り場	747		
炊飯広場	719		
フィールドアスレチック	1,142	141	348組720人：プレミアムパスポート
テニスコート	167		
コインロッカー	17		
ログハウス	(閉鎖中)		
オートサイト	〃		
テントサイト	〃		
バーベキュー舎	〃		
合計	2,950	531	

## (3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	115,068	人件費	78,024
利用料収入	2,950	光熱水費	9,011
その他	1,627	修繕費	4,232
		その他	27,785
合 計 ①	119,645	合 計 ②	119,052
収支差額 ①-②	593		

## 6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成31年4月 ～平成32年3月	授乳室があると助かる	授乳室をインフォメーションセンターに設置した
	案内図で自分がどこにいるかわからない	案内図と案内看板の改善を図った
	幼児用便座があると便利	幼児用便座を多目的トイレに設置した
	もっと公園情報を知りたい	Facebookでの発信をこまめに行った。 紙媒体の「公園便り」を発刊

## 7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
平成30年4月	小学3年生の男の子がアスレチックで落下し、左上腕骨折。	救急車で搬送。公園加入の保険から見舞金を支払い、注意看板を設置。
平成30年4月	作業員が電動丸鋸で、誤って右足ひざ下切傷。	救急車で搬送。縫合。 使用方法を全員に再度周知徹底。
平成30年9月	作業員がチェーンソーで左手人指し指切傷。	作業員で搬送。縫合。 チェーンソーの使用方法について、再確認と周知。

## 8 その他報告事項など

特になし
------

## 9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示板やHP、facebook、インスタグラムによる情報提供をこまめに行い、年代を問わず、県内外にPRを努めている。</li> <li>・ マスコミにも多く取り上げられている</li> <li>・ 利用者の意見に迅速に応え、常に改善に努めている</li> <li>・ 公園独自のイベントは41回、参加人数1016人と好評である</li> <li>・ 津幡町を中心に多くのイベントにも連携・協力し、サービスの向上、利用促進に積極的取り組んでいる。</li> </ul>
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の清掃、林道、広場の除草等は適期に行われているほか、専門業者へ保守点検を委託するなど適切な維持管理と修繕に努めている。</li> </ul>
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園の管理技術向上のため各種研修の自主的な実施や自然体験活動指導者資格の取得、安全衛生委員会、労働災害防止研修会の開催など積極的に行ない安全管理技術の向上に努めている。</li> <li>・ 非常時の連絡体制やマニュアルが定められており、事故が3件（昨年度5件）発生したが、適切に処理されている。</li> <li>・ 蜂の抗体検査を作業員に行い、エッペンを支給している。</li> </ul>
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の設置目的にあった管理運営がなされているとともに、県内外への情報発信、自主的イベントを充実させ、各種団体と共同・連携したイベントも好評で、接遇や管理技術、安全管理など技術の向上に対する前向きな取り組みは大いに評価できる。</li> <li>・ 森林公園の自然を活かし、森林環境や生態系の保全などイベントを通して紹介するなど保育園児から高齢者まで広く地域の住民に親しまれる運営がなされている。</li> </ul>

### ○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

### ○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

## 10 助言・指摘事項

特になし。